

テーマ別パスファインダー



文章を上手に書けるようになるために



### ✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2013年6月18日  
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |  
ラーニングcommons るくす | LSチーム

## I. イントロダクション

### ＜ 「文章を上手に書けるようになるために」 とは？

山ほどある書き方の本から、本当に役立つ本を選びました。

書くことを勉強する機会は多くありません。小学校での作文を始め、大学入試での小論文に至るまで、我々は様々な場面で「書く」ことを要求されてきていますが、そのことについて体系的に勉強した人は少ないのではないのでしょうか。そんな「書く」技術を一独学でもいいので—なんとか手に入れたい、という人のための「道しるべ」になればと思い、このパスファインダーは作成されました。論文作成に関する本も紹介しています。

キーワード：文章論，日本語表現論，パラグラフライティング，レポート・論文作成

## II. まずはここから

### ＜ ベッカー，ハワード・S(2012)『ベッカー先生の論文教室』慶応技術大学出版会

(=Becker, Howard S. (1986) "Writing for Social Science -How to Start and Finish Your Thesis, Book, or Article" University of Chicago Press)

論文は「ややこしく」書くべきか。人々が悩み、苦しむ「書く」という作業と、その裏にあるジレンマを、大学教授が赤裸々に語る著。「書く」にどのような態度でのぞむべきかを教えてくれる。エッセーのような語り口だが、書き方の本としても必要十分。【総合図-A棟3階 学習用図書 307||BEC】

### ＜ 野田尚史 (2005)『なぜ伝わらない、その日本語』岩波書店

日本語学者、野田尚史の著。文章を書く、といっても、必ずしも長いものから始める必要はありません。この本では、チラシやDM、メールなどを手掛かりに、「なぜ伝わらないのか」「どうしたら伝わるようになるのか」を考え、「相手中心」の書き方を提唱します。【外国図-4階開架 816||168】

### ＜ 村田喜代子 (2011)『縦横無尽の文章レッスン』朝日新聞出版

小説家であり講師の著者の大学講義を文書化したもの。可愛い表紙が目をひく。まさに「縦横無尽」に、様々なジャンルから文章を参照、コメントを添えている。真剣なHow to本が苦手な人にも◎。

【外国図-4階開架 816||221】

## III. 書く前に参考にしたい本

### ＜ 山崎康司 (2011)『入門 考える技術・書く技術 日本人のロジカルシンキング実践法』ダイヤモンド社

「日本人のロジカルシンキング実践法」という副題のついた、ビジネス書。日本語特有の性質と、アメリカ仕込みのロジカルシンキングの両立はなかなか難しいが、そこを上手く説明しているのが本書。図表も分かりやすく、それを見るだけでも価値がある。【総合図-A棟3階 学習用図書 336.55||YAM】

#### ◀ 佐竹秀雄 (2006) 『文章を書く技術』 ベレ出版

本大学出身者で、表記論・文章論が専門の佐竹氏。文章を短く切ること、トピックセンテンスを活用する事など、具体的に「わかりやすくするコツ」が説明してある(一部 第四章)。自分の文章がわかりにくいと自信を無くしている人は、ここを読んではどうだろうか。ただし、卒業論文などに関する説明はあまりない。【外国図-4 階開架 816||175】

### IV. 書きながら参考にしたい本

#### ◀ 酒井聡樹 (2006) 『これから論文を書く若者のために』 共立出版

論文の書き方の、アイデアから書き方まで一冊でまとまっている本の中でも、書き方の詳しい手順等も紹介されている。理系を念頭に置いているが、文系にも十分通用する構成。自分の気になる部分だけの拾い読みにも。【総合図-A 棟 4 階 学習用図書 816.5||SAK】

### V. 特定の領域に特化した本

#### ◀ 倉島保美 (2012) 『論理が伝わる 世界標準の「書く技術」』 講談社 (ブルーバックス)

欧米式のパラグラフライティングに特化した本。特に論理的文章を書くためには必要なスキルが詰まっている。本自体の書き方もまさにパラグラフライティングのお手本になっているところも、特徴だろう。税別 880 円なので、個人で買っても損はしない。また、大学教育の批判を「おわりに」で行っているのだが、読んでいて痛快である。【総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 089||BB||1793】

#### ◀ 林紘一郎・名和小太郎 (2009) 『引用する極意・引用される極意』 勁草書房

引用に特化した本。引用する事、されることについて、ありがちな著作権的な立場だけではなく、引用する「必要性」や「理由」をも教えてくれる。若手研究者や大学院生を対象としているが、拾い読みだけでも多くのことを得られる一冊だろう。【外国図-4 階開架 816||206】

### VI. 役立つ? Website

#### ◀ ライフハッカー日本版 (URL: <http://www.lifehacker.jp/>) (最終確認: 2013/12/13)

ウェブライター向けの記事のほか、ビジネス書などを書く際の知識が応用できる可能性がある。過去記事の中には役立つものがあります。精神論なども大切ですよね。

## ✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)  
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。